

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科 / 学年	年度 / 時期	授業形態
臨床医学各論Ⅱ	診療情報管理士専攻学科 / 1年	2020年度 / 前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
10回	1単位 (20 時間)	必須	岡部 昭延(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>新生物(腫瘍)は体のすべての臓器・組織に発生する疾患として、全診療科で扱われる重要な疾患群である。したがって、新生物の分類、診断法、治療法は、その性質、発生部位等から多岐にわたる。</p> <p>ここでは、新生物の発生組織・臓器、良性・悪性、原発性、続発性、転移性等新生物の概要を理解するとともに、わが国における主要な新生物を中心に、新生物の多彩な診断法、治療法を学び適切なICD分類に結びつく基本的知識を修得することを目的とする。</p> <p>【実務経験有】岡部 昭延: 医師、大学病院での経験も活かし、疾病についての知識を学生に伝える</p> <p>[授業終了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新生物の種類、悪性と良性の説明ができる。 2. 検査方法、鑑別方法、治療、臨床経過を説明できる。 3. 疾患別に理解し、説明できる。 			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	新生物の定義	1)新生物とは	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良性、悪性の違い ・ 由来組織の違い ・ 舌癌、EBウイルス ・ 食堂癌 ・ 胃癌は深達度、転移、検査等も覚える ・ 大腸癌、肝細胞癌、胆嚢癌、膵癌 ・ 喉頭癌、肺癌 ・ 乳癌 ・ 甲状腺癌 ・ ホジキン病、白血病 ・ 家族性大腸ポリポーシス
2	悪性新生物	2)新生物の分類 1) 口唇・口腔・咽頭の悪性新生物(C00-C14) 2)消化器の悪性新生物(C15-C26)	
3			
4		3)呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	
5		4)骨及び関節軟骨、皮膚の黒色腫、中皮及び軟部組織の悪性新生物(C40-C49)	
6		★理解度確認テスト 5)乳房、女性生殖器、男性生殖器の悪性新生物(C50-C63)	
7		6)眼、脳、及び中枢神経系、甲状腺およびその他の内分泌の悪性新生物(C64-C75)	
8	良性新生物	7)リンパ組織・造血組織・関連組織の悪性新生物(C81-C95)上皮内新生物(D00-D09) 1)大腸ポリープ	
9		2)脂肪腫 3)血管腫、リンパ管腫 4)子宮平滑筋腫 5)良性脳腫瘍 6)褐色細胞腫	
10	問題演習	過去頻出問題	
			事前学習
			次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ」 (株)日本病院共済会		1)科目終了時の最終試験の評価	:90%
		2)出席率	:10%

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科 / 学年	年度 / 時期	授業形態
臨床医学各論Ⅲ	診療情報管理士専攻学科 / 1年	2020年度 / 前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
10回	1単位 (20 時間)	必須	岡部 昭延(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>血液・造血器、栄養・代謝、内分泌系等の障害により、病態が全身に関わる各疾病について、それらの特徴と症状・所見、診断法、治療法等を学ぶことを目的とする。</p> <p>膠原病、リウマチ疾患について、ICD分類上は主に循環器疾患や結合織疾患として分類されているが、重要な全身疾患群としてこの項で基本的知識を修得する。</p> <p>【実務経験有】岡部 昭延: 医師、大学病院での経験も活かし、疾病についての知識を学生に伝える</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1. 血液の組織を理解した上で、血液疾患の症状や検査について説明できる。</p> <p>2. 免疫機構及び内分泌を理解した上で、その疾患の特徴について説明できる。</p> <p>3. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)、内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)について説明できる。</p>			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	血液疾患について	1) 血液の組織 2) 血液疾患の主要症状 3) 血液疾患の検査	<ul style="list-style-type: none"> ・赤血球、白血球、血小板、血漿 ・貧血の仕組みと分類、汎血球減少、凝固と線溶 ・末梢血検査の標準域
2	血液及び造血器の疾患	1) 栄養性貧血(D50-D53)	・鉄欠乏性貧血、巨赤芽球貧血
3		2) 溶血性貧血(D55-D59) 3) 無形成性貧血及びその他の貧血(D60-D64)	・鎌状赤血球障害、後天性溶血性貧血
4		4) 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態(D65-D69) 5) 血液造血器及びその他の疾患(D70-D77)	・DIC、血友病、ファンウィブランド病
5	免疫機構の障害	1) 免疫機構 2) サルコイドーシス(D86) ★理解度確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・無顆粒球症 ・リンパ球、Tリンパ球
6	内分泌、栄養および代謝疾患	1) 内分泌疾患 2) ホルモンの種類と分類	<ul style="list-style-type: none"> ・結節性甲状腺腫、パセドウ病、橋本病 ・1型、2型、合併症 ・ゾリンジャー・エリソン症候群 ・副甲状腺機能低下症、副甲状腺機能亢進症 ・末端肥大症、シモンズ症候群、尿崩症 ・副腎性器症候群、アルドステロン症、アジソン病 ・ビタミンの種類、ウェルニッケ脳症 ・BMI ・ウイelson病、鉄代謝障害、アミロイドーシス ・高Na血症 ・アシドーシス、アルカローシス
7		3) 甲状腺障害(E00-E07) 4) 糖尿病(E10-E14)	
8		5) その他のグルコース調節および膵内分泌障害(E15-E16) 6) その他の内分泌障害	
9		7) 栄養失調、その他の栄養欠乏症(E40-E64) 8) 肥満症及びその他の過栄養(E65-E68) 9) 代謝障害(E70-E90)	
10	問題演習	過去頻出問題	
			事前学習
			次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ」 (株)日本病院共済会		1) 科目終了時の最終試験の評価	:90%
		2) 出席率	:10%

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科 / 学年	年度 / 時期	授業形態																																												
臨床医学各論Ⅳ	診療情報管理士専攻学科 / 1年	2020年度 / 前期	講義 ・ 演習 ・ 実習																																												
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者																																												
10回	1単位 (20 時間)	必須	岡部 昭延(実務経験有)																																												
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>主として部位別、臓器別疾病分類となっている。各疾病について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。 精神障害および神経系の疾患、眼、耳などの感覚系疾患について学ぶ。</p> <p>【実務経験有】岡部 昭延: 医師、大学病院での経験も活かし、疾病についての知識を学生に伝える</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1. 精神および行動の障害について理解した上で、その疾患の特徴について説明できる。 2. 神経系の疾患について理解した上で、その疾患の特徴について説明できる。 3. 眼、耳という感覚系疾患について理解した上で、その疾患の特徴について説明できる。</p> <p>[授業の内容]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">回</th> <th style="width: 20%;">単 元</th> <th style="width: 45%;">内 容</th> <th style="width: 30%;">学習のポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>精神および行動の障害</td> <td>1) 症状性を含む器質性精神障害 (F00-F09) 2) 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 (F10-F19) 3) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害 (F20-F29)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> <td>4) 気分障害 (F30-D39) 5) 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 (F40-F48) 6) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (F50-F59)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> <td>7) 成人の人格及び行動の障害 (F60-F69) 8) 知的障害 (F70-F79) 9) 心理的発達の障害 (F80-F89) 10) 小児期および青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 (F90-F98)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>神経系の疾患</td> <td>★理解度確認テスト 1) 神経系の基礎知識</td> <td>・中枢・末梢神経、錐体路と錐体外路</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> <td>2) 中枢神経系の炎症性疾患 (G00-G09) 3) 主に中枢神経を障害する系統委縮症 (G10-G13)</td> <td>・ハンチントン病 ・パーキンソン病、筋委縮性側索硬化症</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td></td> <td>4) 錐体外路障害および異常運動 (G20-G26) 5) 神経系のその他の変性疾患 (G30-G32) 6) 中枢神経系の脱髄疾患 (G35-37) 7) 挿間性および発作性障害 (G40-G47) 8) 神経、神経根および神経そうの障害 (G50-G59) 9) 多発ニューロパチーおよびその他の末梢神経系の障害 (G60-G64)</td> <td>・アルツハイマー病 ・多発性硬化症 ・てんかん(原因、症状) ・バル麻痺 ・ギラン・バレー症候群</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td></td> <td>10) 神経筋接合部及び筋の疾患 (G70-G73) 11) 脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群 (G80-G83) 12) 神経系のその他の障害 (G90-G99)</td> <td>・重症筋無力症、進行性筋ジストロフィー(型) ・小児麻痺 ・水頭症(乳幼児・正常圧)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td>目および付属器の疾患</td> <td>1) 眼瞼、涙器、眼窩、結膜の障害 (H00-H13) 2) 水晶体、脈絡膜および網膜の障害、緑内障 (H25-H42) 3) 硝子体、眼球、視神経及び視覚路の障害 (H43-H48) 4) 眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害 (H49-H52)</td> <td>・麦粒腫、霰粒腫、結膜炎(感染症、アレルギー性) ・老人性白内障、裂孔原性網膜剥離、緑内障</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9</td> <td>耳および乳様突起の疾患</td> <td>1) 外耳、中耳及び乳様突起の疾患 (H60-H75) 2) 内耳疾患、耳のその他の障害 (H80-H95)</td> <td style="text-align: center;">事前学習</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td>確認問題演習</td> <td>確認問題</td> <td>次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。</td> </tr> </tbody> </table>				回	単 元	内 容	学習のポイント	1	精神および行動の障害	1) 症状性を含む器質性精神障害 (F00-F09) 2) 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 (F10-F19) 3) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害 (F20-F29)		2		4) 気分障害 (F30-D39) 5) 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 (F40-F48) 6) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (F50-F59)		3		7) 成人の人格及び行動の障害 (F60-F69) 8) 知的障害 (F70-F79) 9) 心理的発達の障害 (F80-F89) 10) 小児期および青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 (F90-F98)		4	神経系の疾患	★理解度確認テスト 1) 神経系の基礎知識	・中枢・末梢神経、錐体路と錐体外路	5		2) 中枢神経系の炎症性疾患 (G00-G09) 3) 主に中枢神経を障害する系統委縮症 (G10-G13)	・ハンチントン病 ・パーキンソン病、筋委縮性側索硬化症	6		4) 錐体外路障害および異常運動 (G20-G26) 5) 神経系のその他の変性疾患 (G30-G32) 6) 中枢神経系の脱髄疾患 (G35-37) 7) 挿間性および発作性障害 (G40-G47) 8) 神経、神経根および神経そうの障害 (G50-G59) 9) 多発ニューロパチーおよびその他の末梢神経系の障害 (G60-G64)	・アルツハイマー病 ・多発性硬化症 ・てんかん(原因、症状) ・バル麻痺 ・ギラン・バレー症候群	7		10) 神経筋接合部及び筋の疾患 (G70-G73) 11) 脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群 (G80-G83) 12) 神経系のその他の障害 (G90-G99)	・重症筋無力症、進行性筋ジストロフィー(型) ・小児麻痺 ・水頭症(乳幼児・正常圧)	8	目および付属器の疾患	1) 眼瞼、涙器、眼窩、結膜の障害 (H00-H13) 2) 水晶体、脈絡膜および網膜の障害、緑内障 (H25-H42) 3) 硝子体、眼球、視神経及び視覚路の障害 (H43-H48) 4) 眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害 (H49-H52)	・麦粒腫、霰粒腫、結膜炎(感染症、アレルギー性) ・老人性白内障、裂孔原性網膜剥離、緑内障	9	耳および乳様突起の疾患	1) 外耳、中耳及び乳様突起の疾患 (H60-H75) 2) 内耳疾患、耳のその他の障害 (H80-H95)	事前学習	10	確認問題演習	確認問題	次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。
回	単 元	内 容	学習のポイント																																												
1	精神および行動の障害	1) 症状性を含む器質性精神障害 (F00-F09) 2) 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 (F10-F19) 3) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害 (F20-F29)																																													
2		4) 気分障害 (F30-D39) 5) 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 (F40-F48) 6) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (F50-F59)																																													
3		7) 成人の人格及び行動の障害 (F60-F69) 8) 知的障害 (F70-F79) 9) 心理的発達の障害 (F80-F89) 10) 小児期および青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 (F90-F98)																																													
4	神経系の疾患	★理解度確認テスト 1) 神経系の基礎知識	・中枢・末梢神経、錐体路と錐体外路																																												
5		2) 中枢神経系の炎症性疾患 (G00-G09) 3) 主に中枢神経を障害する系統委縮症 (G10-G13)	・ハンチントン病 ・パーキンソン病、筋委縮性側索硬化症																																												
6		4) 錐体外路障害および異常運動 (G20-G26) 5) 神経系のその他の変性疾患 (G30-G32) 6) 中枢神経系の脱髄疾患 (G35-37) 7) 挿間性および発作性障害 (G40-G47) 8) 神経、神経根および神経そうの障害 (G50-G59) 9) 多発ニューロパチーおよびその他の末梢神経系の障害 (G60-G64)	・アルツハイマー病 ・多発性硬化症 ・てんかん(原因、症状) ・バル麻痺 ・ギラン・バレー症候群																																												
7		10) 神経筋接合部及び筋の疾患 (G70-G73) 11) 脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群 (G80-G83) 12) 神経系のその他の障害 (G90-G99)	・重症筋無力症、進行性筋ジストロフィー(型) ・小児麻痺 ・水頭症(乳幼児・正常圧)																																												
8	目および付属器の疾患	1) 眼瞼、涙器、眼窩、結膜の障害 (H00-H13) 2) 水晶体、脈絡膜および網膜の障害、緑内障 (H25-H42) 3) 硝子体、眼球、視神経及び視覚路の障害 (H43-H48) 4) 眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害 (H49-H52)	・麦粒腫、霰粒腫、結膜炎(感染症、アレルギー性) ・老人性白内障、裂孔原性網膜剥離、緑内障																																												
9	耳および乳様突起の疾患	1) 外耳、中耳及び乳様突起の疾患 (H60-H75) 2) 内耳疾患、耳のその他の障害 (H80-H95)	事前学習																																												
10	確認問題演習	確認問題	次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。																																												
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)																																													
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ」 (株)日本病院共済会		1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10%																																													

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
臨床医学各論V	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義・演習・実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
10回	1単位 (20 時間)	必須	岡部 昭延(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい] 生命の維持に直接関わる呼吸器・循環器系の疾病について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。</p> <p>【実務経験有】岡部 昭延: 医師、大学病院での経験も活かし、疾病についての知識を学生に伝える</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)] 1. 循環器系及び呼吸器系の疾患の主要症状、検査等を理解し、説明することができる。 2. 循環器系疾患のそれぞれの特徴を理解し、説明することができる。 3. 呼吸器系疾患のそれぞれの特徴を理解し、説明することができる。</p>			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	循環器系の疾患	1) 心臓の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・心電図、心エコー図、心臓カテーテル RI検査、心音、血液検査、胸部単純X線 ・僧帽弁狭窄症(PTMC)、僧帽弁閉鎖不全症 ・心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、 ・本態性高血圧、腎血管性高血圧 ・狭心症、急性心筋梗塞 ・肺塞栓症 ・急性心膜炎 ・心筋症、左心不全、右心不全、不整脈 ・くも膜下出血、脳出血、硬膜下出血、脳梗塞 ・動脈硬化症、大動脈瘤 ・門脈血栓症、下肢静脈瘤
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
7	呼吸器系の疾患	★理解度確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ、肺炎 ・(ウイルス、細菌性、マイコプラズマ、クラミジア)肺炎 ・真菌症、肺クリプトコッカス症 ・慢性閉塞性肺疾患(COPD) ・アスベスト肺 ・肺水腫 ・濃胸
8			
9			
10	確認問題演習	確認問題演習	
			事前学習
			次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I」 (株)日本病院共済会		1) 科目終了時の最終試験の評価	:90%
		2) 出席率	:10%

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
臨床医学各論VI	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義・演習・実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
10回	1単位 (20 時間)	必須	岡部 昭延(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい] ここでは、腹部に位置する各種臓器(消化器系)、疾病について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。</p> <p>【実務経験有】岡部 昭延: 医師、大学病院での経験も活かし、疾病についての知識を学生に伝える</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)] 1. 消化器及び尿路性器の人体構造を理解した上で、主症状および検査について説明できる。 2. 消化器の疾患について理解し、それぞれの特徴を述べることができる。 3. 尿路性器の疾患について理解し、それぞれの特徴を述べることができる。</p>			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	消化器の疾患	1) 食道・胃・十二指腸疾患の主症状、検査	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂炎、食道アカシア、マロリー・ワイス症候群 ・胃潰瘍、十二指腸潰瘍、慢性胃炎 ・クローン病、潰瘍性大腸炎 ・イレウス、腸重積、大腸憩室症 ・主な症状、検査 ・急性肝不全、慢性肝炎、肝硬変 ・主な症状、検査等 ・胆石症、結石症、胆嚢炎、膵炎 ・ダンピング症候群 ・溶連菌感染後急性糸球体腎炎 ・ネフローゼ症候群 ・腎盂腎炎、水腎症 ・急性腎不全 ・慢性腎不全、尿毒症の症状 ・腎尿細管性アシドーシス ・膀胱炎 ・前立腺肥大症 ・子宮内膜症、トリコモナス膣炎、膣カンジタ症
2		2) 口腔、唾液腺および歯の疾患(K00-K14)	
3		3) 食道、胃および十二指腸の疾患(K20-K31)	
4		4) 虫垂の疾患(K35-K38)	
5		5) ヘルニア(K40-K46)	
6		6) 非感染性腸炎および非感染性大腸炎(K50-K52)	
7		7) 腸その他の疾患(K55-K65)	
8		8) 腹膜の疾患(K65-K67)	
9		9) 肝疾患	
10		10) 胆嚢、胆管および膵の障害	
11		11) 消化器系その他の疾患	
6	尿路性器系の疾患	★消化器の疾患の小テスト	
7		1) 腎臓の症状、検査	
8		2) 糸球体疾患(N00-N08)	
9		3) 全身疾患と腎	
10		4) 腎尿細管間質性疾患(N10-N16)	
11	5) 腎不全(N17-N19)		
12	6) 尿路結石症(N20-N23)		
13	7) 腎および尿管その他の障害(N25-N29)		
14	8) 尿路系のその他の疾患(N30-N39)		
15	9) 男性性器の疾患(N40-N51)		
16	10) 乳房の障害(N60-N64)		
17	11) 女性骨盤臓器の炎症性疾患(N70-N77)		
18	12) 女性性器の非炎症性障害(N80-N98)		
			事前学習
			次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I」 (株)日本病院共済会		1) 科目終了時の最終試験の評価 :90% 2) 出席率 :10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
臨床医学各論Ⅶ	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義・演習・実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
10回	1単位 (20 時間)	必須	岡部 昭延(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>周産期疾病について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。また、“妊娠の成立”という現象について、妊娠から母体の変化、胎児の発育、分娩までの基本を学び、さらに、周産期の障害と感染症、退治・新生児に関わる障害などを理解するとともに、ICD分類との関係を把握することを目的とする。</p> <p>【実務経験有】岡部 昭延: 医師、大学病院での経験も活かし、疾病についての知識を学生に伝える</p> <p>[授業終了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1. 妊娠の成立を理解し、それぞれの疾病につなげることができる。 2. 母体の変化、胎児の発育、分娩までの基礎を理解し、説明することができる。 3. ICD分類との関係を把握し、理解することができる。</p>			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	妊娠、分娩および産褥	1) 排卵から受精、着床まで	<ul style="list-style-type: none"> ・胎児の特徴、妊娠による母体の変化 ・分娩の3要素 ・正常分娩の経過 ・子宮外妊娠(経過、症状、検査、治療) ・胎状奇胎 ・自然流産(切迫流産、完全流産等) ・妊娠中毒症 ・子痛 ・妊娠悪阻 ・多胎妊娠 ・胎位異常 ・回旋進入の異常 ・羊水過多、羊水過少 ・前期破水 ・前置胎盤 ・早産(切迫、人工、自然、習慣) ・微弱陣痛 ・子宮破裂、頸管裂傷 ・産褥熱 ・アプガー・スコア ・水腫型、黄疸型、貧血型
2		2) 正常妊娠	
3		3) 正常分娩	
4		4) 流産に終わった妊娠(O00-O08)	
5		5) 妊娠、分娩および産褥における浮腫、たんぱく尿(O10-O16)	
6		6) 妊娠に関する母体障害(O20-O29)	
7		7) 胎児・羊膜腔に関連する母体ケア及び分娩の諸問題(O30-O48)	
8		8) 分娩の合併症(O60-O75)	
9		9) 分娩(O80-O84)	
10		10) 主として産褥に関連する合併症(O85-O92)	
1	周産期に発生した病態	1) 低出生体重児	<ul style="list-style-type: none"> ・水腫型、黄疸型、貧血型
2		2) 新生児仮死	
3		3) 呼吸窮迫症候群	
4		4) 新生児溶血性疾患	
5		5) 核黄疸、新生児黄疸	
10	確認問題演習	確認問題	事前学習
			次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ」 (株)日本病院共済会		1) 科目終了時の最終試験の評価 :90% 2) 出席率 :10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科 目 名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態
臨床医学各論Ⅷ	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授 業 の 回 数 (×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授 業 担 当 者
10回	1単位 (20 時間)	必須	岡部 昭延(実務経験有)
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>ここでは、皮膚および皮下組織の疾患についてと身体の形態、運動器に関わる骨、筋肉、関節等などの疾病について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の修得を目的とする。</p> <p>【実務経験有】岡部 昭延: 医師、大学病院での経験も活かし、疾病についての知識を学生に伝える</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <p>1.皮膚科疾患の主症状を理解したうえで、各治療法を説明できる。 2.皮膚および皮下組織の疾患についての各疾病の症状、診断法、治療法をその特徴を理解して説明できる。 3.筋骨格系の疾患について各疾病の症状、診断法、治療法をその特徴を理解して説明できる。</p>			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
1	皮膚および皮下組織の疾患	1)皮膚科疾患の主症状	<ul style="list-style-type: none"> ・皮疹の局所所見、自覚症状
2		2)診断	
3		3)治療法	
4		4)皮膚および皮下組織の感染症(L00-L08)	
5		5)水疱症(L10-L14)	
6		6)皮膚炎および湿疹(L20-L30)	
7		7)丘疹落屑性障害(L40-L45)	
8		8)蕁麻疹および紅斑(L50-L54)	
9		9)皮膚および皮下組織の放射線非電離および電離に関する障害(L55-L59)	
10		10)皮膚付属器の障害(L60-L75)	
1	筋骨格系	11)皮膚および皮下組織のその他の障害(L80-L99)	<ul style="list-style-type: none"> ・化膿性関節炎、関節リウマチ、若年性関節リウマチ、成人スチル病、痛風
2		12)皮膚のその他の悪性新生物(C44)	
3		★理解度確認テスト	
4		1)関節障害(M00-M25)	
5		2)全身性結合組織障害(M30-M36)	
6	3)変形性脊柱障害(M40-M54)	<ul style="list-style-type: none"> ・結節性多発性動脈炎、川崎病 ・全身性エリテマトーデス ・多発性筋炎・皮膚筋炎 ・全身性硬化症、ベーチェット病 	
7		4)軟部組織障害(M60-M79)	<ul style="list-style-type: none"> ・脊柱側弯
8			<ul style="list-style-type: none"> ・頸椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板ヘルニア ・ガングリオン、デュピュイトラン拘縮
9	5)骨障害および軟骨障害(M80-M94)	<ul style="list-style-type: none"> ・骨粗鬆症 ・骨軟化症、くる病、骨髄炎 	
10	確認問題演習	確認問題	
			事前学習
			次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ」 (株)日本病院共済会		1)科目終了時の最終試験の評価	:90%
		2)出席率	:10%

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態																																												
医療管理各論Ⅲ	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義・演習・実習																																												
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者																																												
10回	1単位 (20 時間)	必須	中井 里美																																												
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>質の高い安全な医療を提供するためには、医療安全管理と医療の質管理は、極めて重要である。医療事故を未然に防止すること、事故後の適切な対応が医療安全活動の本質と言われ、2015年に始まった医療事故調査制度は医療の安全を確保するために医療事故の原因究明と再発防止を行うことを目的としている。</p> <p>さらには、DPC/PDPSやNDBなど診療報酬請求制度におけるデータ活用は、医療の質や経営の質のみならず病院の将来を決定する計画策定のための重要指標となる。診療情報管理業務が拡大するなかで、必要な基礎知識を深め、その対応力を備えることを目的としている。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1.医療事故の説明ができる。 2.医療の質について理解と管理について説明できる。 3.データ活用について説明できる。</p> <p>[授業の内容]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">回</th> <th style="width: 20%;">単 元</th> <th style="width: 55%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">学習のポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td rowspan="3">安全管理</td> <td>1)医療安全概論</td> <td rowspan="3">・リスクマネジメント、インシデント・レポートシステム</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2)医療におけるリスクマネジメント</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3)ヒューマンエラー</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td rowspan="4">医療の質管理</td> <td>4)医療事故と医事紛争</td> <td rowspan="4">・医療事故と医療過誤</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1)医療の質と保証</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2)チーム医療における診療情報共有</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>3)医療の質マネジメント</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td rowspan="3">診療情報管理における 診療報酬請求データの活用</td> <td>4)医療の質の評価と公表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1)医療マーケティング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>2)診療情報管理におけるデータの活用</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3)電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4)診療情報管理データと医事会計データ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>問題演習</td> <td>過去頻出問題</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	単 元	内 容	学習のポイント	1	安全管理	1)医療安全概論	・リスクマネジメント、インシデント・レポートシステム	2	2)医療におけるリスクマネジメント	3	3)ヒューマンエラー	4	医療の質管理	4)医療事故と医事紛争	・医療事故と医療過誤	5	1)医療の質と保証	6	2)チーム医療における診療情報共有	7	3)医療の質マネジメント	8	診療情報管理における 診療報酬請求データの活用	4)医療の質の評価と公表		9	1)医療マーケティング		10	2)診療情報管理におけるデータの活用				3)電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データ				4)診療情報管理データと医事会計データ			問題演習	過去頻出問題	
回	単 元	内 容	学習のポイント																																												
1	安全管理	1)医療安全概論	・リスクマネジメント、インシデント・レポートシステム																																												
2		2)医療におけるリスクマネジメント																																													
3		3)ヒューマンエラー																																													
4	医療の質管理	4)医療事故と医事紛争	・医療事故と医療過誤																																												
5		1)医療の質と保証																																													
6		2)チーム医療における診療情報共有																																													
7		3)医療の質マネジメント																																													
8	診療情報管理における 診療報酬請求データの活用	4)医療の質の評価と公表																																													
9		1)医療マーケティング																																													
10		2)診療情報管理におけるデータの活用																																													
		3)電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データ																																													
		4)診療情報管理データと医事会計データ																																													
	問題演習	過去頻出問題																																													
			事前学習																																												
			次回の授業の内容を踏まえて テキストを用いて予習する。																																												
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)																																													
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ」 (株)日本病院共済会		1)科目終了時の最終試験の評価 :80% 2)出席率 :10% 3)小テスト等 :10%																																													

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態
医療統計学Ⅱ	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授 業 の 回 数 (×90分)	単 位 数 (時 間 数)	必 須 ・ 選 択	授 業 担 当 者
10回	1単位 (20 時間)	必 須	大藪 和雄(実務経験有)
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>診療情報管理士が病院統計及び疾病統計の知識を身につけることを目的とする。そして情報化の手段として基本的なグラフ表現と実際に求められる病院統計の手法を学ぶ他、単なるテクニカルな面におわることなく、データを扱う上での研究方法や論理を学ぶ。</p> <p>【実務経験有】大藪 和雄: 県庁での統計業務を踏まえ、大学での講義経験も活かし、学生に統計の手法およびグラフ化の仕方を教授する</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <p>1. データに即したグラフを作成することができる。</p> <p>2. 統計に使用する値を計算することができる。</p>			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
1	データのグラフ表現	1)データの視覚化	
2		2)各種グラフ ①棒グラフ	
3		②円グラフまたはパイ図表	
4		③帯グラフまたは百分率棒グラフ	
5		④折れ線グラフ	
6		⑤クモの巣グラフ	
7		⑥箱ひげ図	
8		⑦3次元グラフ	
9	病院の統計資料	1)病院統計の作成とその意義	
10	臨床研究の主な手法	2)主な統計調査と評価指標	
	問題演習	3)主な医療評価指標	
		4)悪性腫瘍の5年生存率	
		コホート研究と症例対照研究について	
			事前学習
			次回の授業の内容を踏まえて テキストを用いて予習する。
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ」 (株)日本病院共済会		1)科目終了時の最終試験の評価 :90% 2)出席率 :10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態																																			
診療情報管理論 I	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習																																			
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者																																			
10回	1単位 (20 時間)	必須	中井 里美																																			
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>診療情報管理を実施するための基礎として診療情報の重要性を理解し、診療情報を適切に取り扱い責任ある情報管理を行う能力を身につける。ここでは診療情報管理の意義と役割について系統的に学習するとともに、診療情報管理に関わる法令や諸規則を含め、診療情報の記録方法が機能的にどのような構成やルールをとっているかについて学ぶ。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1. 診療情報管理の背景を理解し、正しい用語を覚える。 2. 診療録記録に関する法令を理解し、管理に対する認識を高める。 3. 診療記録の種類と内容を理解し、それぞれを区別できる。</p> <p>[授業の内容]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">回</th> <th style="width: 25%;">単 元</th> <th style="width: 45%;">内 容</th> <th style="width: 25%;">学習のポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>診療情報管理の意義と役割</td> <td>1)用語の定義 2)診療記録の意義と価値価値</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>3)診療情報管理の意義 4)診療情報管理の役割</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>診療情報管理の背景</td> <td>1)診療記録のルーツ 2)諸外国における診療情報管理 3)日本における診療情報管理</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>診療情報管理と法規等</td> <td>1)医師法、医療法 2)診療録管理体制加算</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>3)法令上の記録ならびに様式</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>診療情報管理に関連するガイドライン</td> <td>1)「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」への対応</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>2)「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」への対応</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>診療情報の記載方法</td> <td>3)「診療情報提供に関する指針」への対応 1)POS 2)フォーカスチャータイング 3)クリニカルパス</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>診療情報の記載</td> <td>1)一般的原則 2)診療録の基本的な記載 3)留意すべき記載</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>問題演習</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">事前学習 次回の授業の内容を踏まえて テキストを用いて予習する。</p>				回	単 元	内 容	学習のポイント	1	診療情報管理の意義と役割	1)用語の定義 2)診療記録の意義と価値価値		2		3)診療情報管理の意義 4)診療情報管理の役割	3	診療情報管理の背景	1)診療記録のルーツ 2)諸外国における診療情報管理 3)日本における診療情報管理	4	診療情報管理と法規等	1)医師法、医療法 2)診療録管理体制加算	5		3)法令上の記録ならびに様式	6	診療情報管理に関連するガイドライン	1)「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」への対応	7		2)「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」への対応	8	診療情報の記載方法	3)「診療情報提供に関する指針」への対応 1)POS 2)フォーカスチャータイング 3)クリニカルパス	9	診療情報の記載	1)一般的原則 2)診療録の基本的な記載 3)留意すべき記載	10	問題演習	
回	単 元	内 容	学習のポイント																																			
1	診療情報管理の意義と役割	1)用語の定義 2)診療記録の意義と価値価値																																				
2		3)診療情報管理の意義 4)診療情報管理の役割																																				
3	診療情報管理の背景	1)診療記録のルーツ 2)諸外国における診療情報管理 3)日本における診療情報管理																																				
4	診療情報管理と法規等	1)医師法、医療法 2)診療録管理体制加算																																				
5		3)法令上の記録ならびに様式																																				
6	診療情報管理に関連するガイドライン	1)「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」への対応																																				
7		2)「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」への対応																																				
8	診療情報の記載方法	3)「診療情報提供に関する指針」への対応 1)POS 2)フォーカスチャータイング 3)クリニカルパス																																				
9	診療情報の記載	1)一般的原則 2)診療録の基本的な記載 3)留意すべき記載																																				
10	問題演習																																					
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)																																				
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ」 (株)日本病院共済会		1)科目終了時の最終試験の評価 :90% 2)出席率 :10%																																				

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科 目 名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態																																			
診療情報管理論Ⅱ	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習																																			
授 業 の 回 数 (×90分)	単 位 数 (時 間 数)	必 須 ・ 選 択	授 業 担 当 者																																			
10回	1単位 (20 時間)	必 須	中 井 里 美																																			
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>診療情報管理士の専門性について理解し、医療に貢献する診療情報管理を実践していくための能力の基礎を身につける。診療情報管理を実施する場で用意に想起され、応用可能な基礎知識を習得する。</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <p>1. 診療情報管理士の業務の説明ができる。 2. 紙カルテ、電子カルテ運用における診療情報管理士の業務の説明ができる。 3. 診療情報管理委員会の活動について説明できる。</p> <p>[授 業 の 内 容]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">回</th> <th style="width: 25%;">単 元</th> <th style="width: 50%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">学 習 の ポ イ ン ト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>診療情報管理士について</td> <td>1) 診療情報管理士の教育資格制度 2) 診療情報管理士の業務指針</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>診療情報管理士に求められる資質</td> <td>1) 知識と技能 2) 視点</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>診療情報管理士の基本業務</td> <td>1) 診療情報を体系的・一元的に管理する業務 2) 診療情報を安全に管理する業務</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>3) 診療情報を点検する業務 4) 診療情報を有効に活用する業務 5) 診療情報を提供する業務</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>紙カルテ運用における診療情報管理</td> <td>1) 様式の標準化 2) 所在管理・貸出管理</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>3) 診療情報の点検 4) 診療情報の利活用 5) 個人情報保護への対応</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>電子カルテ運用における診療情報管理</td> <td>1) 記録内容と記載方法の選択 2) 紙媒体に作成された情報の保存</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td>3) 診療情報の点検 4) 病院情報システムにおけるマスター管理 5) 診療情報の利活用</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td>6) 個人情報保護への対応 7) 電子カルテの諸課題</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>診療情報管理士による改善への取り組み 診療情報管理士の活動組</td> <td>1) 医療安全管理 2) チーム医療 3) 病院経営 1) 診療情報管理部門 2) 診療情報管理委員会 3) DPCコーディング委員会</td> </tr> </tbody> </table>				回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト	1	診療情報管理士について	1) 診療情報管理士の教育資格制度 2) 診療情報管理士の業務指針		2	診療情報管理士に求められる資質	1) 知識と技能 2) 視点	3	診療情報管理士の基本業務	1) 診療情報を体系的・一元的に管理する業務 2) 診療情報を安全に管理する業務	4		3) 診療情報を点検する業務 4) 診療情報を有効に活用する業務 5) 診療情報を提供する業務	5	紙カルテ運用における診療情報管理	1) 様式の標準化 2) 所在管理・貸出管理	6		3) 診療情報の点検 4) 診療情報の利活用 5) 個人情報保護への対応	7	電子カルテ運用における診療情報管理	1) 記録内容と記載方法の選択 2) 紙媒体に作成された情報の保存	8		3) 診療情報の点検 4) 病院情報システムにおけるマスター管理 5) 診療情報の利活用	9		6) 個人情報保護への対応 7) 電子カルテの諸課題	10	診療情報管理士による改善への取り組み 診療情報管理士の活動組	1) 医療安全管理 2) チーム医療 3) 病院経営 1) 診療情報管理部門 2) 診療情報管理委員会 3) DPCコーディング委員会
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト																																			
1	診療情報管理士について	1) 診療情報管理士の教育資格制度 2) 診療情報管理士の業務指針																																				
2	診療情報管理士に求められる資質	1) 知識と技能 2) 視点																																				
3	診療情報管理士の基本業務	1) 診療情報を体系的・一元的に管理する業務 2) 診療情報を安全に管理する業務																																				
4		3) 診療情報を点検する業務 4) 診療情報を有効に活用する業務 5) 診療情報を提供する業務																																				
5	紙カルテ運用における診療情報管理	1) 様式の標準化 2) 所在管理・貸出管理																																				
6		3) 診療情報の点検 4) 診療情報の利活用 5) 個人情報保護への対応																																				
7	電子カルテ運用における診療情報管理	1) 記録内容と記載方法の選択 2) 紙媒体に作成された情報の保存																																				
8		3) 診療情報の点検 4) 病院情報システムにおけるマスター管理 5) 診療情報の利活用																																				
9		6) 個人情報保護への対応 7) 電子カルテの諸課題																																				
10	診療情報管理士による改善への取り組み 診療情報管理士の活動組	1) 医療安全管理 2) チーム医療 3) 病院経営 1) 診療情報管理部門 2) 診療情報管理委員会 3) DPCコーディング委員会																																				
			事前学習																																			
			次回の授業の内容を踏まえて テキストを用いて予習する。																																			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)																																				
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ」 (株)日本病院共済会		1) 科目終了時の最終試験の評価 : 90% 2) 出席率 : 10%																																				

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
国際疾病統計Ⅰ	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義・演習・実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
10回	1単位(20時間)	必須	中井 里美
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>わが国の人口動態統計の仕組みと意義を理解する。 人口動態統計に用いられる国際疾病分類(ICD)についての理解を深め、その歴史と現状の状況を理解する。 国際統計分類群(ファミリー)に属するその他の分類体系についての理解を深め、健康情報に関する幅広いコード体系についての意義を問題点を理解する。 わが国に導入されているDPC/PDPS制度におけるICDの利用について理解する。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1. 疾病分類法の歴史を理解した上で、わが国での利用状況、課題を説明できる。 2. ICD-10及び、それを取り巻くファミリーの概念を理解し、説明できる。 3. 国際疾病分類の使用方法を理解し、コーディング技法を習得する。</p>			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	国際疾病分類論	1) わが国の人口動態統計	・人口動態統計
2		2) 国際疾病分類の歴史	
3		3) 国際疾病分類の現状	
4		4) 国際疾病分類の構造	
5	国際統計分類群論	1) 国際統計分類群ファミリーの構造	・疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表
6		2) 国際疾病分類-腫瘍学	
6		3) 国際機能分類	
7		4) その他の国試ア統計分類群ファミリー	
7	国際疾病分類の利用	1) 原死因の選択ルール	
8		2) 主要病態の選択ルール	
9		3) 診断群分類における国際疾病の利用	
10	問題演習		
			事前学習
			次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ」 (株)日本病院共済会		1) 科目終了時の最終試験の評価 :80% 2) 出席率 :10% 3) 小テスト等 :10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
国際疾病統計Ⅱ	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
15回	1単位 (30 時間)	必須	中井 里美
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>1. 「国際疾病統計Ⅰ」で学習した内容に基づき、さらに実務面での具体的な留意点等の理解を深めつつ、主に頻度の高い疾病を中心にコーディング技術を習得する。</p> <p>2. 疾病コードの特異的なものを中心に、疾患名のみではなく、補助コード等の演習を行い、さらなる技術習得とその活用能力を向上させる。</p> <p>3. 退院時要約を用いて、記載内容からの検討も加え、診断名のコーディング活用能力を向上させる。</p> <p>[授業終了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1. コーディングのルールや注意事項、用語の定義を理解した上で、コーディング技術に応用できる。</p> <p>2. 第Ⅰ章から第XXⅠ章及び原死因までのコーディングを行うことができる。</p>			
[授業の内容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	国際疾病分類の基本	1)コーディングをはじめるにあたって 2)ICD-10(2013年版)準拠の概説 3)「国際疾病分類(ICD)」編さんの基準とその特徴 4)「内容例示表」と「索引表」の使用方法 5)複数病態分類と複合病態分類、二重分類 6)記号と符号 7)用語の定義、傷病名の構成 8)傷病名のコード索引方法 9)コーディング支援ソフトウェアの利用	
2	分類法演習	1)第Ⅰ章～第Ⅱ章 (A00-B99,C00-D48)	・疾病コーディング ・要約症例
3		2)第Ⅲ章～第Ⅴ章 (D50-D89,E00-E90,F00-F99)	
4		3)第Ⅵ章～第Ⅷ章 (G00-G99,H00-H95)	
5		4)第Ⅸ章～第Ⅹ章 (I00-I99,J00-J99)	
6		5)第Ⅺ章～第Ⅻ章 (K00-K93,L00-L99)	
7		6)第Ⅼ章～第Ⅽ章 (M00-M99,N00-N99)	
8		7)第Ⅾ章～第Ⅿ章 (O00-O99,P00-P96)	
9		8)第ⅰ章～第ⅱ章 (Q00-Q99,R00-R99)	
10		9)第ⅲ章 (S00-T98)	
11		10)第ⅳ章～第ⅴ章 (Z00-Z99,V01-Y98)	
12		11)原死因コーディング	
13		12)要約症例	
14			
15			
			事前学習
			次回の授業の内容を踏まえて テキストを用いて予習する。
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ」 「ICD-10第1巻「内容例示表」」 「ICD-10第3巻「索引表」」		1)科目終了時の最終試験の評価 :80% 2)出席率 :10% 3)小テスト等 :10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科 目 名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態																																																								
診療報酬請求事務	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習																																																								
授 業 の 回 数 (×90分)	単 位 数 (時 間 数)	必 須 ・ 選 択	授 業 担 当 者																																																								
15回	2単位 (30 時間)	必 須	小林 麻衣子																																																								
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>より質が高く信頼感のある医療の提供が求められている状況で医療事務員も高度な医事業務の能力とさらに管理・運営の視点が必要とされている。1年次に学んだ知識をもとに診療報酬請求事務能力認定試験合格をめざす。</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <p>1.診療報酬請求事務能力認定試験に合格する。</p> <p>2020年度+L30:L33/前期</p> <p>[授 業 の 内 容]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">回</th> <th style="width: 25%;">単 元</th> <th style="width: 40%;">内 容</th> <th style="width: 30%;">学 習 の ポ イ ン ト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>検定対策</td> <td>1)検定概要</td> <td>・過去の傾向</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>医療保険制度</td> <td>2)出題傾向及び攻略法</td> <td rowspan="2">・保険者、加入者、給付、給付率等制度の概要</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>公費負担医療制度</td> <td>1)被用者保険、国民健康保険、退職者医療</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>2)後期高齢者医療</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>保険医療機関等</td> <td>1)生活保護法、精神保健福祉法</td> <td rowspan="2">・登録 ・療養病床等の規定と保険医療の取扱い</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>療養担当規則等</td> <td>2)障害者自立支援法、感染症法等法律</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>診療報酬</td> <td>3)特定疾患治療研究事業等</td> <td rowspan="3">・カルテの読解術</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td>1)保険医療機関(保険薬局)、保険医(保険薬剤師)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>問題演習</td> <td>2)特定機能病院、地域医療支援病院</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td>1)点数算定のルール規定</td> <td rowspan="5">・医療保険制度・公費負担医療制度 ・保険医療機関等・療養担当規則等 ・初再診・入院・医学管理等 ・在宅・投薬・注射・検査・病理診断 ・画像診断・処置・手術・麻酔・リハビリ ・精神・放射線治療・明細書の記載等 ・外来レセプト</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td>2)レセプト作成術</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td>3)略語</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td>1)学科問題</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td>2)実技問題</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>前期末試験</td> <td></td> <td>・入院レセプト</td> </tr> </tbody> </table>				回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト	1	検定対策	1)検定概要	・過去の傾向	2	医療保険制度	2)出題傾向及び攻略法	・保険者、加入者、給付、給付率等制度の概要	3	公費負担医療制度	1)被用者保険、国民健康保険、退職者医療	4		2)後期高齢者医療		5	保険医療機関等	1)生活保護法、精神保健福祉法	・登録 ・療養病床等の規定と保険医療の取扱い	6	療養担当規則等	2)障害者自立支援法、感染症法等法律	7	診療報酬	3)特定疾患治療研究事業等	・カルテの読解術	8		1)保険医療機関(保険薬局)、保険医(保険薬剤師)	9	問題演習	2)特定機能病院、地域医療支援病院	10		1)点数算定のルール規定	・医療保険制度・公費負担医療制度 ・保険医療機関等・療養担当規則等 ・初再診・入院・医学管理等 ・在宅・投薬・注射・検査・病理診断 ・画像診断・処置・手術・麻酔・リハビリ ・精神・放射線治療・明細書の記載等 ・外来レセプト	11		2)レセプト作成術	12		3)略語	13		1)学科問題	14		2)実技問題	15	前期末試験		・入院レセプト
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト																																																								
1	検定対策	1)検定概要	・過去の傾向																																																								
2	医療保険制度	2)出題傾向及び攻略法	・保険者、加入者、給付、給付率等制度の概要																																																								
3	公費負担医療制度	1)被用者保険、国民健康保険、退職者医療																																																									
4		2)後期高齢者医療																																																									
5	保険医療機関等	1)生活保護法、精神保健福祉法	・登録 ・療養病床等の規定と保険医療の取扱い																																																								
6	療養担当規則等	2)障害者自立支援法、感染症法等法律																																																									
7	診療報酬	3)特定疾患治療研究事業等	・カルテの読解術																																																								
8		1)保険医療機関(保険薬局)、保険医(保険薬剤師)																																																									
9	問題演習	2)特定機能病院、地域医療支援病院																																																									
10		1)点数算定のルール規定	・医療保険制度・公費負担医療制度 ・保険医療機関等・療養担当規則等 ・初再診・入院・医学管理等 ・在宅・投薬・注射・検査・病理診断 ・画像診断・処置・手術・麻酔・リハビリ ・精神・放射線治療・明細書の記載等 ・外来レセプト																																																								
11		2)レセプト作成術																																																									
12		3)略語																																																									
13		1)学科問題																																																									
14		2)実技問題																																																									
15	前期末試験		・入院レセプト																																																								
			事前学習																																																								
			次回の授業の内容を踏まえて テキストを用いて予習する。																																																								
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)																																																									
「診療報酬請求事務能力認定試験受験対策と予想問題集」医学通信社 「診療報酬早見表」医学通信社		1) 期末テスト :70% 2) 出席率 :10% 3) 課題提出・検定結果等 :20%																																																									

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態																																																		
Access実習	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/通期	講義 ・ 演習 ・ 実習																																																		
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者																																																		
30回	2単位(60時間)	必須	田井 麻友美																																																		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>Accessを通してデータベースの仕組みを理解し、データベース操作に関する知識と技能を養う。後期は、データを効率よく入力する方法や、条件によってデータを抽出する方法、明細行を組み込んだレポートの作成など、より実務に即したデータベースの利活用ができるようスキルの向上を計る。</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Accessを通してデータベースの仕組みを理解できる。 2. テーブル・クエリ・フォーム・レポート・マクロ等の機能と仕組みが理解できる。 3. データベースの仕組みの理解に加え、実務に即したAccessの利活用ができる。 <p>[授業の内容]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">回</th> <th style="width: 15%;">単 元</th> <th style="width: 50%;">内 容</th> <th style="width: 30%;">学習のポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Accessの基礎知識 データベースの作成</td> <td>1)Accessの概要・起動・画面構成 2)データベースの作成</td> <td rowspan="15"> <ul style="list-style-type: none"> ・商品/担当者/得意先/売上 ・並べ替え ・フィールドの入れ替え ・データのインポート ・AND条件・OR条件 ・比較演算子の利用 ・Where条件 ・フォームビュー ・コントロール ・商品/得意先/宛名ラベル/売上一覧表 </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>テーブルの作成</td> <td>1)テーブルの概要 2)各テーブルの作成</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>3)既存テーブルへのデータのインポート 4)新規テーブルへのデータのインポート</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>リレーションシップの作成</td> <td>1)リレーションシップとは 2)リレーションシップの作成</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>クエリの作成</td> <td>1)得意先電話帳を作成する 2)得意先マスターを作成する</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>3)売上データを作成する 4)条件に合致する得意先を抽出する</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>5)条件に合致する売上データを抽出する 6)売上データを集計する</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>フォームの作成</td> <td>1)商品マスターの入力画面を作成する 2)得意先マスターの入力画面を作成する</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td>3)売上データの入力画面を作成する 4)担当者マスターの入力画面を作成する</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>レポートの作成</td> <td>1)各種レポートを作成する</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>ピボットグラフの作成</td> <td>1)ピボットテーブル、グラフを作成する</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td>総合問題1</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td>総合問題2</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>前期末試験</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	単 元	内 容	学習のポイント	1	Accessの基礎知識 データベースの作成	1)Accessの概要・起動・画面構成 2)データベースの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・商品/担当者/得意先/売上 ・並べ替え ・フィールドの入れ替え ・データのインポート ・AND条件・OR条件 ・比較演算子の利用 ・Where条件 ・フォームビュー ・コントロール ・商品/得意先/宛名ラベル/売上一覧表 	2	テーブルの作成	1)テーブルの概要 2)各テーブルの作成	3		3)既存テーブルへのデータのインポート 4)新規テーブルへのデータのインポート	4	リレーションシップの作成	1)リレーションシップとは 2)リレーションシップの作成	5	クエリの作成	1)得意先電話帳を作成する 2)得意先マスターを作成する	6		3)売上データを作成する 4)条件に合致する得意先を抽出する	7		5)条件に合致する売上データを抽出する 6)売上データを集計する	8	フォームの作成	1)商品マスターの入力画面を作成する 2)得意先マスターの入力画面を作成する	9		3)売上データの入力画面を作成する 4)担当者マスターの入力画面を作成する	10	レポートの作成	1)各種レポートを作成する	11	ピボットグラフの作成	1)ピボットテーブル、グラフを作成する	12		総合問題1	13		総合問題2	14			15	前期末試験	
回	単 元	内 容	学習のポイント																																																		
1	Accessの基礎知識 データベースの作成	1)Accessの概要・起動・画面構成 2)データベースの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・商品/担当者/得意先/売上 ・並べ替え ・フィールドの入れ替え ・データのインポート ・AND条件・OR条件 ・比較演算子の利用 ・Where条件 ・フォームビュー ・コントロール ・商品/得意先/宛名ラベル/売上一覧表 																																																		
2	テーブルの作成	1)テーブルの概要 2)各テーブルの作成																																																			
3		3)既存テーブルへのデータのインポート 4)新規テーブルへのデータのインポート																																																			
4	リレーションシップの作成	1)リレーションシップとは 2)リレーションシップの作成																																																			
5	クエリの作成	1)得意先電話帳を作成する 2)得意先マスターを作成する																																																			
6		3)売上データを作成する 4)条件に合致する得意先を抽出する																																																			
7		5)条件に合致する売上データを抽出する 6)売上データを集計する																																																			
8	フォームの作成	1)商品マスターの入力画面を作成する 2)得意先マスターの入力画面を作成する																																																			
9		3)売上データの入力画面を作成する 4)担当者マスターの入力画面を作成する																																																			
10	レポートの作成	1)各種レポートを作成する																																																			
11	ピボットグラフの作成	1)ピボットテーブル、グラフを作成する																																																			
12		総合問題1																																																			
13		総合問題2																																																			
14																																																					
15	前期末試験																																																				
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)																																																			
<ul style="list-style-type: none"> ・「よくわかるAccess2016基礎」 FOM出版 ・「よくわかるAccess2016応用」 FOM出版 		<ol style="list-style-type: none"> 1)期末試験 : 80% 2)出席率 : 10% 3)課題提出等 : 10% 																																																			

事前学習
 次回の授業の内容を踏まえて
 テキストを用いて予習する。
 次のページへ続く

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
16	前期の振り返り		
17	会員管理データベースの概要 テーブルの活用	1)会員管理データベースの概要 2)フィールドプロパティを設定する	
18	リレーションシップと参照整合性 クエリの活用	1)リレーションシップと参照整合性の概要 2)リレーションシップと参照整合性を設定する	
19		3)参照整合性を確認する 4)関数を利用する	
20	アクションクエリと 不一致クエリの作成	5)フィールドプロパティを設定する 1)テーブル作成クエリを作成する	
21		2)削除クエリを作成する 3)追加クエリを作成する	
22	販売管理データベースの概要 フォームの活用	4)更新クエリを作成する(1)(2) 5)不一致クエリを作成する	
23		1)販売管理データベースの概要 2)フォームのコントロール	
24	メイン・サブフォームの作成 メイン・サブレポートの作成	3)コントロールを作成する 4)タブオーダーを設定する	
25		1)メイン・サブフォームを作成する 2)レポートのコントロール	
26	レポートの活用	3)メイン・サブレポートを作成する 4)コントロールの書式を設定する	
27		1)集計行のあるレポートを作成する 2)累計を設定する	
28	Web対応機能 便利な機能	3)改ページを設定する 4)パラメータを設定する	
29	総合問題	1)ハイパーリンクを設定する 2)HTMLファイルの作成	
30	後期末試験	3)添付ファイルとして送信する	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科 目 名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態
卒業研究	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/通期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授 業 の 回 数 (×90分)	単 位 数 (時 間 数)	必 須 ・ 選 択	授 業 担 当 者
45回	3単位 (90時間)	必 須	小林 麻衣子
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>3年間の総括として研究テーマを選定し、研究、考察、発表を行う。論理的な物事の見方や客観的な視点での考察、裏付けされたデータを使用した資料の作成、効果的なプレゼンテーション技法を意識して卒業研究発表を行う。</p>			
<p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <p>1.明確な目的の基に研究を進めることができる。 2.客観的な視点で研究内容を考察できる。 3.効果的なプレゼンテーション技法を用い、聴講者にわかりやすい発表ができる。</p>			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
1	卒業研究とは	1)卒業研究の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の目的・背景・動機 ・研究スケジュールの作成
2		2)テーマの選定	
3		3)企画書作成	
4			
5	本論作成準備	1)研究の概要決定	<ul style="list-style-type: none"> ・論文の構成
6	本論作成	1)データ収集	<ul style="list-style-type: none"> ・検証の手段 ・用語の定義 ・引用文献について ・章立てと対応ページ ・アンケート集計の方法 ・グラフ作成の手法 ・客観的な評価・考察
7		2)文献の引用	
8		3)データの検証	
9		4)目次の作成	
10		5)アンケートの作成	
11		6)図表・グラフの挿入	
12		7)考察	
13	本論の組立	1)目次	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の目的に沿った資料の検索 ・記述の文体 ・疑問点の抽出 ・結論と考察 ・考察を踏まえた次節への展開
14		2)研究の目的と背景	
15		3)本論	
16		4)考察	
17	中間発表	5)結論	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの確認 ・記述の文体 ・結論と考察 ・考察を踏まえた次節への展開
18		6)謝辞	
19		7)参考文献	
			事前学習
			次回の授業の内容を踏まえて 研究の進捗状況に合わせて考察しておく
			次のページに続く
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)	
		1)卒業論文 本文の評価 :30% 2)卒業研究発表の評価 :60% 3)出席率 :10%	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
18	卒業研究 本論作成	1)データ収集	<ul style="list-style-type: none"> ・章立ての細分化 ・客観的な評価・考察 ・問題点の解決方法 ・疑問点の抽出 ・理論的な記述
19		2)文献の引用	
20		3)データの検証	
21		4)目次の作成	
22		5)研究における問題点と限界	
23		6)考察	
24		7)文章の推敲	
25	本論完成	1)文章の校正	
26	発表用原稿の作成	1)効果的なプレゼンテーションのための原稿	
27		2)原稿の構成	
28		3)キーワードの抽出	
29	レジュメ作成	1)レジュメとは	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の概要 ・研究の要旨 ・考察 ・結論 ・参考文献
30		2)記載内容	
31			
32	発表用パワーポイントの作成	1)表紙	<ul style="list-style-type: none"> ・箇条書き ・グラフの縦軸・横軸の単位 ・文字の大きさ・フォント ・効果的なスライドの作成方法
33		2)研究の背景・動機	
34		3)研究の目的	
35		4)本論	
36		5)考察	
37		6)結論	
38	発表リハーサル (1回目)	1)効果的なプレゼンテーションとは	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドの文字の大きさ・配色 ・スライドの枚数 ・時間内に話す文字数 ・話すスピード ・目線の配り方
39		2)発表内容に沿ったスライドの作成	
40		3)時間を意識したプレゼンテーション	
41		4)聴衆を意識した話し方	
42	発表リハーサル (2回目)		<ul style="list-style-type: none"> ・発表用原稿の推敲 ・スライドの再考 ・発表態度
43			
44			
45	発表リハーサル (3回目)		<ul style="list-style-type: none"> ・発表用原稿の推敲 ・スライドの再考 ・発表態度
46			
47	卒業研究発表		
48			

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態																																																		
社会人基礎講座	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義・演習・実習																																																		
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者																																																		
15回	2単位 (30 時間)	必須	小林 麻衣子																																																		
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>社会人として、また組織を構成する一員として求められる行動、姿勢を学ぶ。また、職場において良い人間関係が構築できるよう好印象を持たれる立ち振る舞い、言葉遣いを身につける。さらに、円滑に業務を遂行するためのビジネスマナーや一般常識を学び、就職活動に活かせる。</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <p>1.社会人としてふさわしい考え方、行動、言葉遣いが実践できる。 2.自分の言葉で、自己PRや将来像を述べることができる。</p> <p>[授 業 の 内 容]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">回</th> <th style="width: 20%;">単 元</th> <th style="width: 45%;">内 容</th> <th style="width: 30%;">学 習 の ポ イ ン ト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>職場の人間関係</td> <td>1)職場の人間関係</td> <td rowspan="15"> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人にふさわしい話し方 ・間違いやすい敬語 ・履歴書作成の準備 ・スピーチの構成 ・具体的なエピソード ・言葉の選び方 ・スピーチの構成と内容 ・表情・言葉遣い ・正しい所作 ・身だしなみ ・目線の位置 ・場所に合わせた声の大きさ </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>社会人としての話し方</td> <td>1)敬語・謙譲語・丁寧語</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>自己PR作成</td> <td>1)長所と短所</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>自分のことについて</td> <td>2)短所を長所に変える記述</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>1)時間を意識したスピーチ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>過去の経験について</td> <td>2)イメージできるスピーチ</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>3)プラス言葉を意識する</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>将来像について</td> <td>4)態度で伝える</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td>1)時間を意識したスピーチ</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>面接練習</td> <td>2)イメージできるスピーチ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td>3)プラス言葉を意識する</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td>4)態度で伝える</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td>1)模擬面接</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト	1	職場の人間関係	1)職場の人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人にふさわしい話し方 ・間違いやすい敬語 ・履歴書作成の準備 ・スピーチの構成 ・具体的なエピソード ・言葉の選び方 ・スピーチの構成と内容 ・表情・言葉遣い ・正しい所作 ・身だしなみ ・目線の位置 ・場所に合わせた声の大きさ 	2	社会人としての話し方	1)敬語・謙譲語・丁寧語	3	自己PR作成	1)長所と短所	4	自分のことについて	2)短所を長所に変える記述	5		1)時間を意識したスピーチ	6	過去の経験について	2)イメージできるスピーチ	7		3)プラス言葉を意識する	8	将来像について	4)態度で伝える	9		1)時間を意識したスピーチ	10	面接練習	2)イメージできるスピーチ	11		3)プラス言葉を意識する	12		4)態度で伝える	13		1)模擬面接	14			15		
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト																																																		
1	職場の人間関係	1)職場の人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人にふさわしい話し方 ・間違いやすい敬語 ・履歴書作成の準備 ・スピーチの構成 ・具体的なエピソード ・言葉の選び方 ・スピーチの構成と内容 ・表情・言葉遣い ・正しい所作 ・身だしなみ ・目線の位置 ・場所に合わせた声の大きさ 																																																		
2	社会人としての話し方	1)敬語・謙譲語・丁寧語																																																			
3	自己PR作成	1)長所と短所																																																			
4	自分のことについて	2)短所を長所に変える記述																																																			
5		1)時間を意識したスピーチ																																																			
6	過去の経験について	2)イメージできるスピーチ																																																			
7		3)プラス言葉を意識する																																																			
8	将来像について	4)態度で伝える																																																			
9		1)時間を意識したスピーチ																																																			
10	面接練習	2)イメージできるスピーチ																																																			
11		3)プラス言葉を意識する																																																			
12		4)態度で伝える																																																			
13		1)模擬面接																																																			
14																																																					
15																																																					
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)																																																			
・「就職の手引き」 穴吹カレッジオリジナル		1)科目終了時の最終試験の評価 : 70 % 2)出席状況 : 10 % 3)課題の取り組み・提出物 : 20 %																																																			

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態	
分類法演習	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/後期	講義 ・ 演習 ・ 実習	
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者	
15回	1単位 (30 時間)	必須	中井 里美	
<p>[授 業 の 目 的 ・ ね ら い]</p> <p>1. 「国際疾病統計」で学習した内容に基づき、さらに実務面での具体的な留意点等の理解を深めつつ、主に頻度の高い疾病を中心にコーディング技術を習得する。</p> <p>2. 診療情報管理士認定試験にむけて内容例示表を使ってコーディング活用能力を向上させる。</p> <p>[授 業 修 了 時 の 達 成 課 題 (行 動 目 標)]</p> <p>1. コーディングのルールや注意事項、用語の定義を理解した上で、コーディング技術に応用できる。</p> <p>2. 内容例示表を使って第 I 章から第XX I 章及び原死因までのコーディングを行うことができる。</p>				
[授 業 の 内 容]				
回	単 元	内 容	学習のポイント	
1	分類法演習	1) 第 I 章～第 II 章 (A00-B99,C00-D48)	・疾病コーディング ・要約症例	
2		2) 第 III 章～第 V 章 (D50-D89,E00-E90,F00-F99)		
3		3) 第 VI 章～第 VIII 章 (G00-G99,H00-H95)		
4		4) 第 IX 章～第 X 章 (I00-I99,J00-J99)		
5		5) 第 XI 章～第 XII 章 (K00-K93,L00-L99)		
6		6) 第 XIII 章～第 XIV 章 (M00-M99,N00-N99)		
7		7) 第 XV 章～第 XVI 章 (O00-O99,P00-P96)		
8		8) 第 XVII 章～第 XVIII 章 (Q00-Q99,R00-R99)		
9		9) 第 XIX 章 (S00-T98)		
10		10) 第 XX 章～第 XXI 章 (Z00-Z99,V01-Y98)		
11				
12				11) 原死因コーディング 12) 要約症例
13	問題演習	1) 疾患名別コーディング	事前学習 次回の授業の内容を踏まえて テキストを用いて予習する。	
14		2) 外因コード、二重分類 3) 原死因コーディング		
15	後期末試験	4) 要約症例		
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)		
「診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ」 「ICD-10第1巻「内容例示表」」 「ICD-10第3巻「索引表」」		1) 科目終了時の最終試験の評価 :80% 2) 出席率 :10% 3) 小テスト等 :10%		

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
診療情報管理士受験対策講座	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/後期	講義・演習・実習	
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者	
105 回	14 単位 (210 時間)	必須	中井 里美	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>診療情報管理士認定試験を合格を目指す。基礎・医学分野、専門分野、専門・国際統計分類分野において、今までの復習を交えながら、知識の再確認及び習得を目指す。</p>				
<p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1.診療情報管理士認定試験 基礎分野8割以上の正答ができる。 2.診療情報管理士認定試験 専門分野(第1章～第7章)を8割以上の正答ができる。 3.診療情報管理士認定試験 専門・国際統計分類分野8割以上の正答ができる。</p>				
[授業の内容]				
回	単 元	内 容	学習のポイント	
1	基礎医学	1)2章 人体構造・機能論	<ul style="list-style-type: none"> ・神経組織 ・ホルモンの生成と作用 ・血液 ・脳・脊髄 	
2				
3				
4		★小テスト		
5		2)3章 臨床医学総論	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病の原因 ・先天奇形、変形および染色体異常 ・各部位の損傷 	
6				
7		★小テスト		
8		3)4章 臨床医学各論Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・病原微生物の種類 ・感染経路 ・感染症新法による感染症類型 ・細菌の分類 	
9				
10		★小テスト		
11		4)5章 臨床医学各論Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・食道癌、胃癌、大腸癌 ・肝細胞癌、胆嚢癌、膵癌、喉頭癌、肺癌 ・乳癌、急性白血病、慢性白血病 ・大腸ポリープ、子宮筋腫、髄膜腫 	
12				
13		5)6章 臨床医学各論Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・血液の組織、主要症状 ・貧血、甲状腺中毒症 ・糖尿病、内分泌腺障害 ・栄養欠乏症、代謝障害 ・ホルモンの種類と分類 	
14				
15				
			事前学習	
			次回の授業の内容を踏まえてテキストを用いて予習する。	
			次のページへ続く	
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)		
「診療情報管理Ⅰ」 社団法人日本病院会 「診療情報管理Ⅲ」 社団法人日本病院会 「診療情報管理Ⅳ」 社団法人日本病院会 「ICD-10第1巻」内容例示表 「ICD-10第3巻」索引		1) 期末試験 :70% 2) 小テスト・模擬試験 :20% 3) 出席率 :10%		

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

[授 業 の 内 容]				
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト	
16	基礎医学	6)7章 臨床医学各論Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症 ・神経系の疾患 ・神経系の疾患目および付属器の疾患 ・耳および乳様突起の疾患 	
17				
18				
19		★小テスト		
20		7)8章 臨床医学各論Ⅴ	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器の検査 ・高血圧性疾患、虚血性心疾患 ・心不全、脳血管疾患 ・呼吸器の主要症状、検査 ・インフルエンザおよび肺炎 	
21				
22		★小テスト		
23		8)9章 臨床医学各論Ⅵ	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性下気道疾患、膿胸 ・食道炎、胃潰瘍、クローン病 ・潰瘍性大腸炎、急性肝不全、慢性肝炎 ・肝硬変、ダンピング症候群 ・溶連菌感染後急性糸球体腎炎 ・慢性腎炎症候群、ネフローゼ症候群 ・子宮内膜症 	
24				
25		★小テスト		
26		10)第10章 臨床医学各論Ⅶ	<ul style="list-style-type: none"> ・正常妊娠、正常分娩、子宮外妊娠 ・妊娠中毒症、子癇 ・前置胎盤、微弱陣痛 ・子宮破裂、頸管裂傷、産褥熱 ・新生児仮死、RDS、HDN、核黄疸 	
27				
28	★小テスト			
29	11)第11章 臨床医学各論Ⅷ	<ul style="list-style-type: none"> ・化膿性関節炎、慢性関節リウマチ ・若年性関節リウマチ、痛風、川崎病 ・全身性エリテマトーデス、強皮症 ・ベーチェット病、脊柱側弯症、ヘルニア ・ガングリオン、デュピュイトラン拘縮 ・癒着性肩関節包炎、骨粗鬆症、骨髄炎 ・皮膚及び皮下組織のその他の障害 ・医の倫理 ・医療制度 ・健康制度21 		
30				
31				
32	★小テスト			
33	12)1章 医療概論	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚及び皮下組織のその他の障害 ・医の倫理 ・医療制度 ・健康制度21 		
34	第2回模擬試験	★小テスト 基礎		
35		専門		
36	第2回模擬試験	振り返り		
37	専門	1)第1章 医療管理総論	<ul style="list-style-type: none"> ・医療資源 ・日本の医療制度 ・医療の需要と供給 ・地域医療(医療供給体制) ・医療関連の法規定 	
38				
39				
40		★小テスト		
41		2)第2章 医療管理各論Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の経営管理 ・医療管理 	
42		★小テスト		

次のページへ続く

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

[授 業 の 内 容]				
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト	
43	専 門	3)第3章 医療管理各論Ⅱ	・診療報酬制度 ・診療報酬請求データの活用 ・わが国の診断群分類	
44		★小テスト		
45		4)第4章 医療管理各論Ⅲ	・安全管理(セーフティマネジメント) ・医療の質管理 ・診療報酬請求データの活用	
46				
47		★小テスト		
48		5)5章 保健医療情報学	・保健医療情報学とは ・保健医療情報の特徴と種類 ・医療情報システム、二次利用 ・医療情報の標準化 ・情報セキュリティ	
49				
50		★小テスト		
51		6)6章 医療統計学Ⅰ	・統計方法、データの要約 ・統計学的推測の基礎 ・仮説検定	
52		7)7章 医療統計学Ⅱ	・データのグラフ表現 ・病院の統計資料	
53				
54	基 礎 医 学	★小テスト		
55		8)8章 診療情報管理論Ⅰ	・診療情報管理の意義と役割 ・診療情報管理の歴史 ・診療情報管理と法規等	
56		★小テスト		
57		9)9章 診療情報管理論Ⅱ	・診療情報管理士について ・診療情報管理士の基本業務 ・診療記録の保管管理 ・電子カルテ運用における診療情報管理	
58				
59		★小テスト		
60		10)10章 診療情報管理Ⅲ	・DPC制度と実務 ・医師事務作業補助者業務 ・がん登録の実務	
61		第3回模擬試験	基礎	
62			専門	
63		第3回模擬試験	振り返り	
64	専 門	11)国際疾病統計Ⅰ	・人口動態統計 ・ICD歴史、ICD-10編纂の基準 ・ファミリー ・主要病態の選択ルール ・原死因の定義と死亡診断書 ・内容例示表と索引表、二重分類 ・ICD以外の疾病分類、処置分類	
65				
66				
67				
68		12)国際疾病統計Ⅱ	・疾病・死因分類 ・ICDの特徴 ・複数病態分類と複合病態分類	
69				

次のページへ続く

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
70	問題演習	基礎分野○×問題	正文直しを行い、正しい知識を身につける
71		第1章 医療概論	
72		第2章 人体構造・機能論	
73		第3章 臨床医学総論	
74		第4章 臨床医学各論Ⅰ	
75		第5章 臨床医学各論Ⅱ	
76		第6章 臨床医学各論Ⅲ	
77		第7章 臨床医学各論	
78		第8章 臨床医学各論Ⅴ	
79		第9章 臨床医学各論Ⅵ	
80		第10章 臨床医学各論Ⅶ	
81		第11章 臨床医学各論Ⅷ	
82	第4回模擬試験	基礎	
83		専門	
84	第4回模擬試験	振り返り	
85	問題演習	専門分野○×問題	
86		第1章 医療管理総論	
87		第2章 医療管理各論Ⅰ	
88		第3章 医療管理各論Ⅱ	
89		第4章 医療管理各論Ⅲ	
90		第5章 医療保健情報学	
91		第6章 医療統計学Ⅰ	
92		第7章 医療統計学Ⅱ	
93		第8章 診療情報管理Ⅰ	
94		第9章 診療情報管理Ⅱ	
95		第10章 診療情報管理Ⅲ	
96		第11章 国際疾病統計Ⅰ	
		第12章 国際疾病統計Ⅱ	

次のページへ続く

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学 習 の ポ イ ン ト
97	第5回模擬試験	基礎	
98		専門	
99	第5回模擬試験	振り返り	
100	過去問題演習	基礎分野	
101			
102		専門分野	
103			
104	後期末試験	基礎	
105		専門	

授 業 進 度 計 画 (シ ラ バ ス)

科目名	学 科 / 学 年	年 度 / 時 期	授 業 形 態
病院実習	診療情報管理士専攻学科 /1年	2020年度/前期	講義 ・ 演習 ・ 実習
授業の回数(×90分)	単位数(時間数)	必須・選択	授業担当者
	2 単位 (80 時間)	必須	小林 麻衣子他(実務経験有)
<p>[授業の目的・ねらい] 病院実習において、医療に携わる者としての自覚を高め、診療情報管理士の基礎となる知識、技術等の向上を図る。</p> <p>【実務経験有】各医療施設の実習担当者:実際の病院事務、診療情報管理士として働いている実習指導者がその実務経験を活かし、学生のロールモデルとなること</p> <p>[授業修了時の達成課題(行動目標)]</p> <p>1.診療情報管理士の業務内容が理解できる。 2.診療情報管理士も含め、病院での事務員の役割を理解できる。 3.実習での気づきを報告書にまとめることができる。</p>			
[授 業 の 内 容]			
回	単 元	内 容	学習のポイント
1	病院見学		
2	診療情報管理士業務	<ul style="list-style-type: none"> ・診療録管理室業務の1日の流れ ・退院診療録の製本方法 ・退院診療録の入出庫方法及び管理方法 ・診療録の量的点検・質的点検業務方法 ・統計業務 ・電子カルテ ・DPC業務 ・がん登録 	外来患者統計、退院患者統計、平均在院患者数、平均在院日数、病床回転率 ...
3	他部署見学	<ul style="list-style-type: none"> ・医事課 ・情報管理室 ・検査・画像診断室 ・手術室 等 	
[使用テキスト]			[単位認定の方法及び基準](試験等の評価方法)
実習の手引き 授業等で使用したテキスト			1) 実習評価 :100%